

地位の真理

アウトライン

1. イントロダクション (総論 七つの項目)
2. 各論 33の事柄
3. 結論

6月と7月に、イントロダクションと各論の第8「心に割礼を受けた者である」までを学びました。本日は、前回までの流れをおさらいし、各論の第9と第10を扱います。

イントロダクション 総論 七つの項目

1. キーワードは「キリストにあって」
 - (1) いろいろな表現がある。「キリストにあって」・「イエスにあって」・「イエス・キリストにあって」・「キリスト・イエスにあって」・「彼にあって」・「その方にあって」
 - (2) これらは、ある一つの真理を指している。それは、
 - ① 信者は、メシアなるお方の中にいる、という特別な地位を持っている
 - ② 「キリストにあって」という地位を示すときには、その次に、ある事柄が続く。エペソ 1:3 では、「天にあるすべての霊的祝福を持っている」と続く。
 - (3) そのような事柄、すなわち地位の意味内容は、新約聖書の中に全部で 33 ある。
2. 信者が持つ地位と実際の生活との関係
 - (1) 信者が持つ地位(メシアの中にあるという地位)と、それにつながる 33 の事柄は、神の目から信者を見たときの真実である。
 - (2) 信者の実際の生活を人間の目から見ると、そういう地位にあるようには見えない。
 - (3) 信者の人生における歩みを、信者の持つその地位にふさわしいものにしていくこと、これは聖霊の働き「聖化」である。
 - (4) サタンや悪霊との戦いにおいては、信者の実際の生活がどうあるかではなく、メシアの中にある地位とそれに伴う権威によって対抗する必要がある(Ⅱコリ 5:16 ~17、ピリ 3:3)
3. その地位につくための経路
 - (1) 信者がメシアの中に入る経路は、聖霊のバプテスマである(Ⅰコリ 12:13)
 - (2) 使徒 2 章、ペンテコステでの聖霊降臨以降、すべての信者は、救われたその瞬間に、聖霊のバプテスマを受けて、聖霊の中に浸される。それによって、信者すべての者が一つの御霊を飲む者とされ、一つのからだとなる(Ⅰコリ 12:13)。
 - (3) 一つのからだとは、
 - ① キリストのからだであり、信者は各器官である(Ⅰコリ 12:12、27)。
 - ② それは、「目に見えない・普遍的な教会(単数形)」である(エペソ 1:23)

- 「目に見える・地域教会（単数形、複数形）」（例 黙 2：1、ガラ 1：2）
- ③ キリストは、そのからだである教会のかしら（頭）である（コロ 1：18）。
- (4) よって、「キリストにある信者」とは、キリストのからだである教会に属する信者
- (5) 「このキリストにあって、あなたがたもともに建てられ、御霊によって神の御住まいとなるのです」（エペソ 2：20～21）。教会は、今の時代の神の神殿である。
- (6) このような教会は、使徒 2 章のペンテコステで始まり、救われるべき異邦人の数が満ちたら（ロマ 11：25）、教会は完成して、携挙により地上から取り上げられ、天に移される。
- (7) よって、教会と関係する聖霊のバプテスマは、使徒 2 章のペンテコステ（紀元 30 年の五旬節の祭りの日）に始まり、教会の携挙をもって終了する。
- (8) キリストにある地位は、教会時代の信者の特権である。また、サタンや悪霊が拘束される千年王国とは異なり、サタンや悪霊が活動をしている教会時代において信仰生活を送らねばならない信者にとって必要な権威を伴う地位である。
4. その地位が与えられた源は、神の恵みである（エペソ 1：6、2：7）
5. その地位は、信者の権威の基盤である（エペソ 1：18～19）
6. その地位に伴う権威を行使することは、サタンに対する最良の防御である。エペソ 6：10～18、その冒頭の 10 節は、原語を直訳すると、
- 「強くあれ・主にあって、そして主の力の強さにあって」
- 主にあって=主にあるという地位に立って
- 主の力の強さにあって=主から与えられた地位に伴う権威を用いて
- これは、地位の真理を知り、33 の事柄を理解して、その権威を行使することの命令。
7. 「キリストにあって」というキーワードと並んで、メシアと信者との関係を教える重要な表現がある。それは、「キリストと共に」である。これは、神の目からみたとき、信者はメシアと同一の者と見られていることを示す。このメシアとの同一化は、十字架からスタートして全部で 8 つの枝（展開）を持つ。そのすべてが、救いの結果である。神の恵みであって、人の働きではない。
- (1) キリストと共に十字架につけられた（ガラ 2：20）
- (2) キリストと共に死んだ（コロ 2：20）
- (3) キリストと共に葬られた（ロマ 6：4）
- (4) キリストと共に生かされた（エペソ 2：5）
- (5) キリストと共に復活させられた（エペソ 2：6、コロ 3：1）
- (6) キリストと共に苦しんでいる（ロマ 8：17）
- (7) キリストと共に栄光を受けるであろう（ロマ 8：17）
- (8) キリストと共に共同相続人となるであろう（ロマ 8：17）
- } 過去
- 現在
- } 未来

各論 33の事柄

1. 神によって贖われた者である
 - (1) 贖いは、「キリストにあつて」というキーワードとつながっている。(ロマ 3:23～24、I コリ 1:30、エペソ 1:7、コロ 1:14)
 - (2) 贖いの代価は、メシアの血であった。贖いとは、「～から買い取る」という意味である。霊的な領域における贖いの意味は、罪の奴隷となっていた人を、その奴隷市場から買い取る、ということ。何かを買うためには、必ず代価が必要である。その代価とは、メシアの血であった (I コリ 6:19～20、I ペテ 1:18～19)
 - (3) 新約聖書で「贖う」に関係するギリシヤ語の原語は、3つある。それぞれが少しずつ異なるニュアンスを持っている。
 - ① アゴラゾー 「代価を払って買い取る」という意味 (II ペテ 2:1、黙 5:9)
 - ② エクサゴラジオー 「市場から買い取る」という意味。商品が人であれば、奴隷市場。(ガラ 3:13、4:5)
 - ③ ルトロソ 「解放し、自由にするための身代金」という意味 (マタイ 20:28、I テモ 2:6)。ルトロー 「(身代金を払って) 解放し、自由にする」(テト 2:14)
 - (4) ギリシヤ語の原語3つの意味を合わせると、贖いの全体像がはっきりする。
 - ① 贖われた人(信者)は、メシアが代価を支払って買い取った人である。その代価は、メシアの血であった。
 - ② その人は、生まれながらの罪の奴隷であった。罪の奴隷市場にその人は拘束されていた。メシアはその人を買い取って、外に連れ出してくださった。
 - ③ メシアはその人を解放してくださった。その人は今、自由である。その結果、メシアを主人として仕えることが可能である。
2. 神と和解させられた者である
 - (1) ロマ 5:8～11、II コリ 5:18～19、コロ 1:20～22
 - (2) 人が神と和解したのではない。一方的に神が人をご自身に和解させた。
 - (3) 世の中の一般的な和解は両者に非がある。神の和解では、神の側に非はない。
3. 神の怒りはなだめられており、神は私に怒ってはおられない
 - (1) 神の怒り ロマ 1:18
 - (2) なだめの供え物 ロマ 3:25、I ヨハ 2:2、I ヨハ 4:10
4. 神から赦しを受けている者である
 - (1) 信者のすべての罪(過去・現在・未来)は完全に赦された
エペ 1:7、コロ 1:14、コロ 2:13
 - (2) 信者の間での適用=互いに赦し合いなさい エペ 4:32、コロ 3:13

5. 神から義と認められた者である
 - (1) 神から正しい者と宣言された ロマ 3 : 24、5 : 19、8 : 30
 - (2) 信じると、メシアの義が転嫁される。信者はメシアにあつて義人である。
6. 神からの栄光を受ける者である
 - (1) 信者は将来、神からの栄光を受ける。ロマ 8 : 18
直訳「来るべき栄光、現される、私たちの中に」
 - (2) それは確実であり、神の目からはそれはすでに受けた ロマ 8 : 30
 - (3) 神の怒りの器→あわれみの器=栄光の器 ロマ 9 : 23
直訳「そして神は、神の栄光の豊かさを、知らしめる、あわれみの器たちの上に、この器たちは、神が、あらかじめ、栄光のために、用意した」
 - (4) 信者は将来、メシアと共に栄光のうちに現れる コロ 3 : 4
 - (5) 信者はメシアが現れたら、メシアに似た者となる Iヨハ 3 : 2
7. 闇の支配から解放された者である
 - (1) 暗やみから光に、サタンの支配から神に立ち返った 使 26 : 18
 - (2) かつては、「空中の権威たち（悪霊たち）を配下にして働く霊」（=サタン）に従っていた エペ 2 : 1~2
 - (3) 暗やみの圧制から、愛する御子のご支配のうちに移された コロ 1 : 13
 - (4) メシアはその死によって、悪魔という、死の力を持つ者を滅ぼし、一生涯死の恐怖につながれて奴隷となっていた人々を解放してくださった ヘブ 2 : 14~15
 - ① 「その死によって」 → ③
 - ② サタンが持つ「死の力」とは、何か。
 - 「一生涯死の恐怖につながれて」 人の肉体の死と関係する
 - 死とハデスの鍵（複数形） 黙 1 : 18
 - 人をいつ死なせるかは、支配者であるサタンが決める。そして死者の靈魂は、「よみ、地獄」ハデス シェオール へ。
 - ◆ 旧約時代、神が特定の人をサタンの支配から守ることはあった（ヨブ 1 : 10 「垣を巡らした」）
 - ◆ 旧約時代、信者であっても死者の靈魂はハデスへ。ただし、ハデスの中の「アブラハムのふところ」「慰めの場所」と呼ばれる所に、天使に守られて連れて行かれる。不信者の行く「苦しみ場所」とは別である。（ルカ 16 : 19~31）
 - ◆ ハデスの中の「アブラハムのふところ」は、「パラダイス」とも呼ばれる（ルカ 23 : 43）
 - ③ メシアの死は、人類史上初めて、サタンの支配下になかった。「誰もわたしから命を取る者はいない。わたしが自分からいのちを捨てる。」 ヨハ 10 : 18

- ④ 「死とハデスの鍵（複数形）」は、今は、メシアが持っている 黙 1:18
- ⑤ 「滅ぼし」 ギカタルゲオー 「破壊する」という意味ではなく、「無力化する」という意味。 サタンは今なお存在し活動しているが、信者の肉体の死については、支配力を失っている。
- ⑥ 信者の肉体の死がサタンの支配下におかれる例外的ケースがある。罪を犯し続け、教会の指導訓戒に従わない信者が、教会の交わりから外された場合がある。この場合でも、救いは失われない（マタ 18:15~20、I コリ 5:1~5）。
8. 心に割礼を受けた者である コロ 2:11~12a
- (1) 直訳「彼にあつて、あなたがたも、割礼を受けた、人手によらない割礼を、（どのようにしてかと言うと）①肉の罪の体を脱ぎ捨てたことによって ②キリストの割礼によって、（言い換えると）キリストと共に葬られた、バプテスマにおいて。」
- (2) 肉の割礼は、体の一部である包皮を切り取るだけであるが、キリストの割礼は、「キリストと共に葬られた。体を脱ぎ捨てた」ということ。
9. 神に受け入れられる者である
- (1) エペ 1:6 直訳「次のことにつながります、ほめたたえること、栄光を・神の恵みの。その恵みをもって、神は私たちによくしてくださった（私たちを受け入れられるようにしてくださった）、あの愛されているお方にあつて。」
- (2) 5つの意味で受け入れられる
- ① 義とされた：メシアの義が転嫁されることで、信者は義とされた
- ロマ 5:11~19 ひとりの義によってすべての人が義と認められる
 - ロマ 5:20~21 義の賜物
 - I コリ 1:30 キリストは、私たちにとって、義となられた
 - II コリ 5:21 神は罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされた。それは、私たちが、この方にあつて、神の義となるためである
- ② 聖別された：信者は、聖別された者である。神の目から見て信者はすでに聖い。ゆえに聖徒と呼ばれる。
- I コリ 1:2 聖徒として召され、キリスト・イエスにあつて聖なるものとされた
 - I コリ 1:30 キリストは、私たちにとって、聖めとなられた
 - I コリ 6:11 主イエス・キリストの御名と私たちの神の御霊によって、あなたがたは洗われ、聖なる者とされた
- ③ 永遠に完全な者とされた：信者は、神の目から見てすでに完全である
- ヘブ 10:14 キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされた
- ④ 有罪とされることはない

- ヨハ3:18 さばかれない
- ヨハ5:24 さばきに会うことがない
- ロマ8:1 罪に定められることは決してない

⑤ 資格あるものとされた

- コロ1:12 聖徒の相続分にあずかる資格を私たちに与えてくださった

10. 聖霊の初穂（初なりの実）をいただいた者である

(1) ロマ8:23 御霊の初穂をいただいている私たち自身も・・・

(2) 5つの意味をもつ初なりの実である

① 新生させられた

- ヨハ3:5~6 御霊によって生まれる
- テトス3:5 聖霊による新生

② メシアのからだである教会にバプテスマされた

- ロマ6:1~10 キリスト・イエスにつくバプテスマ
- Iコリ12:13 一つのからだ（=教会）になるように聖霊の中にバプテスマされる（=浸される）

③ 聖霊が内に住む → ひとつの体（=教会）は神の神殿となる

- ロマ5:5 私たちに与えられた聖霊
- ロマ8:9 御霊があなたがたのうちに住んでおられる
- Iコリ3:16 神の御霊があなたがたに宿っている
- Iコリ6:19 あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊
- ガラ4:6 「アバ、父」とよぶ御子の霊をあなたがたの心に
- IIテモ1:14 私たちの内に宿る聖霊
- Iヨハ2:27 キリストから受けたそそぎの油があなたがたのうちに
- Iヨハ3:24 神が私たちのうちにおられるということは、神が私たちに与えてくださった御霊によって知る

④ 聖霊によって封印された=永遠の保証を受けている

- IIコリ1:21~22
 - ◆ 21節 「私たちを確認した、そして私たちに油を注いだ、あなたがたと共に、キリストにあつて、神が」
 - ◆ 22節 「私たちを封印した、そして私たちの心の中に聖霊の保証金を与えた。」
- エペ1:13~14 約束の聖霊をもって封印された
- エペ4:30 贖いの日のために、聖霊によって封印されている

⑤ 聖霊によって満たされる→信者に奉仕のための力を与える

- エペ5:18 御霊に満たされなさい